

西宮 市政ニュース

Nishinomiya Muni. Bulletin

平成15年 (2003年) 9月10日 / 第1189号

今号の主な記事

「まちかど三つの出会い」事業を実施しています	2面
市立・私立幼稚園、来年度入園の園児を募集	2面
ケーキ3000個を用意、「西宮洋菓子園遊会」	3面
ごみ減量を考える「クリーン西宮展」開催	3面

発行 / 西宮市役所 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号
TEL / 0798-35-3151 (代表)

編集 / 総合企画局市長室広報課 TEL / 0798-35-3400

毎月10日(1月は1日)25日 2回発行

「文教住宅都市」とともに歩んできた西宮少年合唱団



▶全国で2番目の文教地区、上ヶ原地域を望む



◀生涯学習の機会提供も宣言の理念です



「文教住宅都市」宣言から40年 住み続けたいまちに

西宮市は、昭和38年に「文教住宅都市」を宣言し、文化性が高く、住環境豊かなまちづくりを行ってきました。10月2日に、宣言40周年を記念して、西宮のこれまでの歩みを振り返り、これからの文化の盛んなまちづくりを考える、記念フォーラムを開催します。問合せは文化振興課(0798・353425)へ。

市長からのメッセージ

西宮市は、文化のかわり豊かな明るい緑のまちにしようと、40年前に、「文教住宅都市宣言」を行いました。

この理念に基づいて、市民とともに海辺や甲山周辺などの自然を保護し、住宅都市としてのまちづくりを行い、数々の文化・教育施策を進めてきました。今日このように文教住宅都市として発展できましたのも、市民の皆さんのご理解と協力によるものと深く感謝しています。

これからも、地球規模で深刻化する環境問題を乗り越え、豊かな自然環境を未来につなぐ活動が必要です。このため、長年にわたって積み重ねてきた文教住宅都市の理念をさらに発展させて、「環境学習都市」を宣言し、家庭や地域など様々な場において、市民や企業の方々の幅広い参画と協働により、継続的な学習活動や実践に取り組みます。

これらの活動を通じ、山・川・海の自然をはぐくみ、文化・教育・産業の盛んなまちづくりをさらに展開してまいります。



西宮市長 山田 知

市は、昭和38年に「文教住宅都市」を宣言し、恵まれた自然環境を大切に、教育・住環境の優れた特性をさらに進める政策を展開してきました。このことにより、西宮は、「教育・文化の盛んな、落ち着いた住みよいまち」と評価されるようになり、昨年6月には人口が45万人を超え、阪神・淡路大震災前の人口を大きく上回りました。

宣言40周年を迎える今年、これまでの西宮の歩みを振り返り、これからの文化振興策を考える「文教住宅都市宣言」を行います。

市宣言40周年記念フォーラムを開催します。これまで積み重ねてきた先進的な文化・教育への取り組みと、豊かな自然を守り育ててきた実績を継承し、文教住宅都市宣言の理念をさらに進展させるため、12月に、「環境学習都市宣言」を行います。

今後、フォーラム以外にも、オランダ女王の名を冠した「クリスティーナ・コンクール」で優秀賞を受賞した若い音楽家たちによるコンサート、「環境学習都市宣言記念シンポジウム」など、記念事業として数多くのイベントを開催します。

文教住宅都市宣言40周年 記念フォーラム

日時：10月2日午後1時～3時半
会場：プレラホール(高松町4-8 プレラにしのみや5階)
参加費：無料

第一部「記念のつどい」
「西宮市歌」、「文教住宅都市の歌」斉唱
女声合唱団・クローバーエコー
講演「文化のまち西宮のグランドデザイン」
西宮市長・山田知

第二部「記念フォーラム」
基調講演「音楽が流れるまち～美しい都市へ～」
夙川学院短期大学教授・岡田孝
パネルディスカッション「文化がつくる新しいまち」
コーディネーター...武庫川女子大学名誉教授・柿木健一郎▶パネリスト...神戸女学院大学名誉教授・茂洋、ツマガリ代表取締役・津曲孝、京都市立芸術大学助教授・藤本英子